

国際協力で人間の安全保障を実践

企画展「まもり、つなぐ」開催

この地球上で私たちが守りたいもの、未来に残したいものは？

JICAは、日本が有する強みや経験を活かし世界約150の国・地域で協力を行っています。その一端を紹介する企画展を「なごや地球ひろば」で開催します。ぜひこの機会にご来館いただき、取材・情報掲載のほどお願いいたします。

【取材可能期間：開催期間中(2/29～7/15)】

議論するより実践しなさい、アクションを起こしなさい、しかも今すぐに。

人間の安全保障は実践です。

— 緒方貞子

JICA(国際協力機構)初代理事長の緒方貞子さんが提唱した、誰もが安全に人間らしく生きる世界を目指す「人間の安全保障」の考え方は、JICAの活動に刻み込まれています。「人間の安全を保障する」とは、健康に生きていくために必要な食べものが手に入ること、赤ちゃんや子どもの命が簡単に奪われないこと、病気が広がらないこと、仕事を失わないこと、暴力や紛争が起こらないこと。

本展示では、JICAが世界とともに目指す、恐怖と暴力がなく、すべての命と暮らしが守られ、人々が能力を発揮できる社会の実現を目指し実施する国際協力の取り組みを写真、パネル、実物展示でご紹介いたします。また、人々の笑顔や、自然の恵みによって育まれた生物の多様性、受け継がれてきた伝統や文化などを紹介する写真展(46点)も同時開催いたします。

私たちは今、紛争や自然災害、環境破壊など、国を超えた世界規模の課題に直面しています。この地球上で私たちが守りたいものは何ですか？未来に残したいものは何ですか？世界の声を聞き、私たち一人ひとりが行動を起こすことが必要です。

体験型展示とリアルな写真・映像で世界を知る



【企画展 展示内容】

タンザニアでは「スポーツは男性がするもの」という考えが根強く、女性がスポーツに取り組む機会が限られていた。そうした環境や意識を変えるため、JICAはタンザニア国立スポーツ評議会と共に、国内初の女子陸上競技会を開催。スポーツを通じた女性の社会的地位向上やエンパワメントに取り組んでいる。



その他、以下の取り組みをご紹介します。

母子保健サービスの向上／セネガル 母子の栄養改善
 ／モザンビーク 女子教育／パキスタン スポーツを
 通じた女性の社会的地位向上／タンザニア 障害のある
 紛争被害者支援／コロンビア 地雷除去支援／カンボジア
 難民受け入れ地域への支援／ウガンダ スポーツを
 通じた平和の促進／南スーダン



【写真展 展示内容】

左:バオバブの木は大きいもので10万ℓ以上の水をためる。気候変動により減少が進むと生態系全体に影響がでる(マダガスカル) 中央:名古屋大学と連携し防災カルタで防災啓発を実施(モンゴル) 右:2023年にトルコ南東部で発生した地震被害に対し国際緊急援助隊を派遣(トルコ)

その他、生物多様性、自然、伝統、文化などをご覧ください。

【展示概要】

展示期間:2024年2月29日(木)~2024年7月15日(月)入場無料 開館時間:10時~18時

休館日:月曜日(月曜日が祝日の場合は開館、翌平日が休館)、その他施設点検など臨時休館あり

施設ウェブサイト:<https://www.jica.go.jp/nagoya-hiroba/index.html>

※展示期間中に数回、連動イベントも行います。連動イベントや、学校等による展示見学と合わせた取材のご希望あればお知らせください。講師・学校等と調整を試みます。

【本件に関する問い合わせ先】

JICA 中部 市民参加協力課 石沢・後藤

TEL:052-533-0220 (対応可能な時間:月—金 9時30分~17時30分) e-mail:cbictpp@jica.go.jp